



上) 児童と園児の稲刈り。下) セブン・イレブン・ジャパンと関係者による稲刈り。左から3人目が森永さん。



もち米「あぶくまもち」 実りの秋 黄金色のほ場で稲刈り体験

子ども達の稲刈り体験

9月16日、森永正男さん（前田・八和木）のほ場で、5月に田植えを行ったいたて希望の里学園前期課程の児童と、までの里のこども園の年長児が、あぶくまもちの稲刈りを体験しました。

んに教えられながら、稲刈りと「はせがけ」を行いました。園児もハサミで稲穂を切ったり、稲の束を運んで児童に渡したりと作業を手伝い力を合わせて稲刈りを行いました。収穫したあふくまもちは子ども達が給食などで味わう予定です。

児童・園児は、春に植えた苗が成長し見事な稲穂を付けた光景に大興奮。児童は村民ボランティアの皆さま

一方、村産のあぶくまもちを商品に活用しているセブン・イレブン・ジャパンの

社員と関係者も9月9日には場を訪れ、森永さんと共に作柄のよさを確認し、稲刈りを体験しました。

道の駅では、村民がぶくまもちを加工したおはぎやおこわ、餅などを販売しています。また各種イベントでNPO法人もりの駅まごころ運営協議会があぶくまもちの甘酒を販売するなど、手軽に味わえる機会も増えています。

〈編集後記〉

夏の暑さが一気になくなり、すっかり秋になりました。村の各所で稲穂が揺れ、輝いています。稲刈りを始め、色々な場所に取材に赴く中で、取材の楽しさを感じると同時に、忙しさを感じて傲慢な態度になってしまったことがありました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざがあるように、飯館村で豊かに実った稲穂を見て、傲慢にならず、謙虚な姿勢を忘れずに過ごしていかなければ…と感じ

た今日この頃でした。(巻野)
年々イベントが増えていくことは実感していました。が今年はいよいよハンパないです。人を想い村を想う趣向を凝らしたイベントが、地元の仲間、学生有志、企業、内外でつながるグループなど多様な担い手により創り出されています。残念ながら広報紙に全ては収まりません。村のHPや公式ライン、チラシやSNSで気になる情報をチェック！足を運んで飯舘村をさらに楽しんでみてください。(星)

パワー全開おらほのお祭り

第42回 いいたて村文化祭

10月26日 日 午前10時～午後2時

交流センター「ふれ愛館」

総合文化展 10月23日(木)～29日(水)

午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

※10月25日(土)は午前9時30分～午後2時

総合文化展では多彩な作品を展示し「いいたてむらの学校」の特別展示も行います。26日は同日開催の福祉チャリティー祭りを合わせてめぐるスタンプラリーも実施します。館産産黒毛和牛が当たるチャンスも。ぜひご参加ください。

問 交流センター「ふれ愛館」 ☎0244-42-0072